

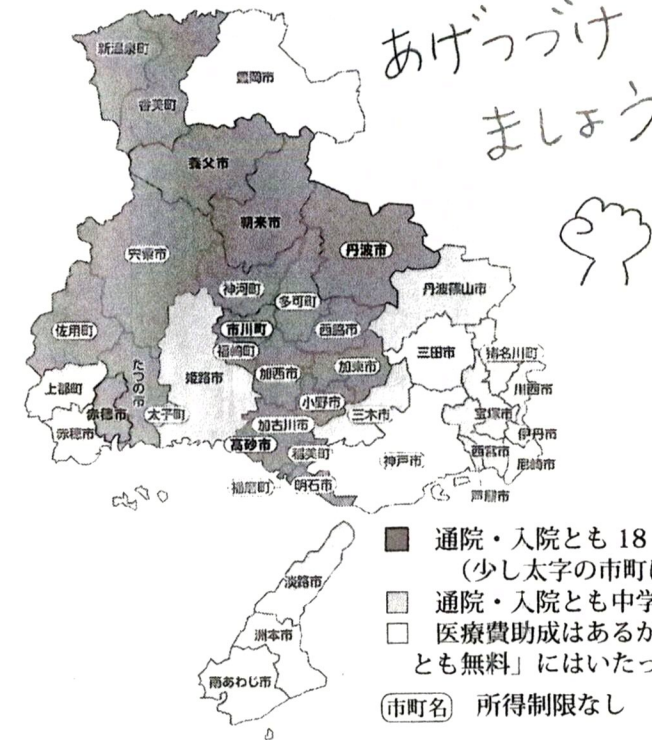


# 命を守る医療や保健の確保を

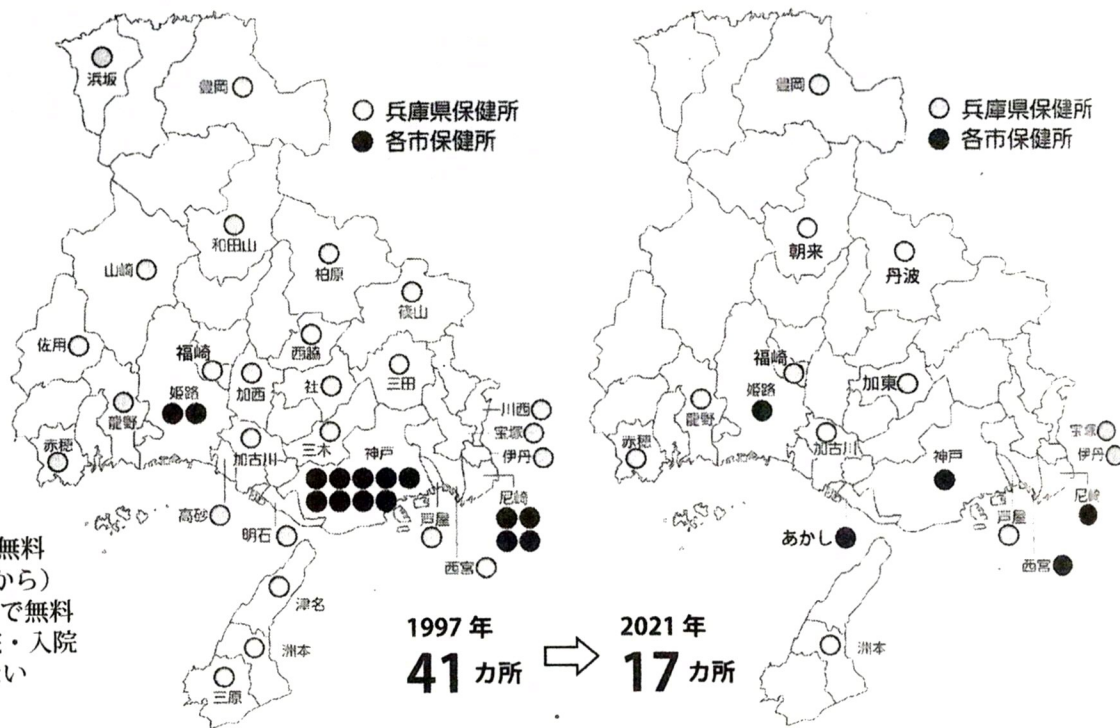
命や健康を守り、感染症対策や保健の向上を求め続けることが公の責任です。削減・縮小ではなく、拡大・増進すべきです。

## ■ 子どもの医療費

“声をあげつづけてみましょう”



## ■ 保健所の半減でコロナ対応に大きな支障



## 給の後には何が来る?! マイナカード

3月議会でも議論をしましたが、皆さんはマイナンバーカードを作る時にキチンと説明を受けて納得してカードを作られたでしょうか? マイナンバー法は、税と社会保障、災害対策に限られた利用範囲を拡大する方針としていますが、もっとも大きな改正(私は改悪と思っています)ポイントは、紙の健康保険証を廃止しマイナンバーカードと一体化すること。そして、公金受取口座の登録を促進することです。

国は年金受給者に「年金口座を公金受取口座に指定するか」という確認書類を送り、同意した人に加えて「一定期間返事がない人も同意したとみなす」としています。つまり「同意しない」と返事した方以外は全員、年金口座が公金受取口座に紐づけられてしまうのです。

今でも年金から、税金や保険料が天引きになっていますが、さらに「いろいろな名目」で天引きが増やされないでしょうか? 年金受給の方から、児童手当受給の方へへと拡大していかないでしょうか?

国民の税金を2兆円も注ぎ込んで「ポイント20000点」の給の後、気をつけておかなければなりません。「紙の保険証なくすな!」の声も上げ続けましょう。

トマホークってアメリカ海軍省の予算書によれば、1発2億7355万円なんですって。日本の予算になると2倍。誰が儲けるんでしょうね。

最近の新聞やテレビは、こんな大切なこと、伝えてくれないね。

川西駐屯地、伊丹駐屯地、千僧駐屯地、が、「基地強硬化」の対象に…。核兵器の攻撃を想定して基地の地下化(シェルター)がはじまる基地も。私たちの命やくらしは?!

## 財源確保もわからない大軍拡予算はどこから?

岸田政権は、2023年度予算に約6・8兆円という異常な軍事費を盛り込みました。空前の大軍拡の一方、首相が掲げる「子ども予算倍増」は具体的な内容や時期を示していません。大軍拡の目玉となるのが、違憲の敵基地攻撃兵器です。防衛省は米国製の長距離巡航ミサイル・トマホークの購入費として2113億円を計上。計400発購入する予定で、単純計算で1発あたり約5億2800万円に上ります。

例えば、90人規模の保育所の建設費は、約2億5650万円です。トマホーク1発分で90人規模の保育所を2カ所造ることが可能です。また、トマホーク3発分なら120人規模の特別養護老人ホームを1カ所建設できます。

自公政権は23年度から27年度までの5年間で43兆円の軍事費(防衛省予算)を狙っています。従来(前「中期防衛力整備計画」と比べると、5年間で約17兆円もの大軍拡になります。「5年間で17兆円」あれば、小・中学校の給食費無償化は約2・2兆円、18歳までの子ども医療費無償化は約2・5兆円で5年間実施できます。5年間の0~2歳の幼児教育無償化(現行制度で対象外の住民税課税世帯を対象)は、約2・4兆円で5年間実現できます。平和外交をしっかりやって、軍事費よりも、教育・福祉にこそ税金を使うべきですよ。



大阪青山大学 お城桜まつり  
昨年からはじまった、一の鳥居駅前にある大阪青山大学の桜まつり。地元、東谷・大和・北陵のコミュニティや自治会なども一緒に催し物や物販でとっても賑わいました。良いお日和でした

清和源氏まつり・奉納射会  
娘が北陵高校時代、弓道部準備会を作って活動している時代から参加させて頂いている奉納射会。以前は、多田神社の境内で開催されました。弓道協会設立50周年です。

コロナ禍で休止されていた行事が復活、嬉しいですね

